かりわり電話のり



2009年2月22日(日)、鈴鹿市文化会館・さつきプラザにて、「わいわい春まつり~すずかの輪~」を開催しました。これは、日本人と外国人が一緒に楽しむおまつりです。

会場には、ブラジル・中国・イギリスのコーナーや民族衣装体験ができるコーナー、着物・生け花のコーナーにフェアトレードのコーナー、マラカス作りコーナーなどなど・・・所せましと並びました。

そこへ述べ800人のお客様がおみえになり、常に会場は大賑わい。

コーナーはどこも大人気で、会場は笑顔にあふれ熱気に包まれました。

調理室では韓国料理講座を行い、チヂミやマッタンを共に作りました。

また、メインイベントの「大太巻きづくり」と「みんなでサンバ」は、それぞれ日本人と外国人が肩を寄せ合い、あるいは文字通り"輪"になり、力を合わせ、息をあわせて、ひとつの同じ目的を共に達成しました。

「同じ目的を持ち、協力し合い、一緒に達成感を味わうこと。」

これが、今回のイベントの大きなテーマでした。

大太巻き作りもサンバも、そういう意味ではまさにぴったりのアトラクションとなりました。

《大太巻き作りの様子》







*大太巻きは全長7メートルの太巻きを4列で4本作りました。

大太巻き作りにかけては大ベテランのだるま寺の市川千賀子さん率いるお仲間に音頭をとって頂き、 みんなで「せ~の!よいしょーっ!」と息を合わせて巻きました。お寿司の総数ナント約1500ケ! 巻いた後は、みそ汁と一緒に、みんなで美味しく頂きました。





《各コーナーの様子》



《調理室》

鈴鹿国際大学3年生のキム・ナヨンさんに、韓国料理を教えていだだきました。

チヂミとマッタン(大学芋のような韓国の家庭のおやつ)を作り、 同時に参加者の皆さんには会場でふるまうお味噌汁も作って いただきました。

お味噌汁もとても美味しく、会場では大評判でした!

《生け花コーナー》

外国の子ども達は初体験! かわいい作品に仕上がりました!







《コチラちゃんもグリーティング》

鈴鹿サーキットからコチラちゃんも遊びにきてくれました!

子ども達、大喜び♡





《着物・浴衣の着付け》

大人も子供も、とにかく大喜びでした!

着飾って、携帯で写真を撮り合う光景が会場のあちこちに・・・とっても嬉しそうでした。









《民族衣装の着付け》

サリー、チマチョゴリ、チャイナドレス、ハワイアンドレス、アオザイ、バリ、シンガポールの衣装などなど、よりどりみどりの衣装の中から、好きなものを選んで着てもらいました!やっぱり嬉しそう!







《中国茶コーナー》

繊細で美しい中国のティーカップでジャスミン茶、ローズプーアル茶をいただくことができました。

月餅(ゲッペイ)もとても美味しかったようです。







《マラカス作りのコーナー》

サンバを踊る時に使うマラカスをペットボトルで作りました。

中にカラフルなビーズなどを入れてモールで飾りつけます。音もしっかり出る立派な楽器の出来上がり~



《イギリスコーナー》→ ダーツをしました。 イギリスのお菓子ショートブレッドを もらって、英会話も楽しんでいました。 子ども達は盛り上がっていました。



Bir

《フェア・トレードコーナー》

現地の商品を適正な価格で購入することによって、 途上国の人々が自らの手で経済的な自立を築くのを支え るフェアトレード。ポルトガル語に訳された説明書きを読ん で、購入して下さるお客様もたくさんいらっしゃいました。 ありがとうございました。

《ショータイム》

メインイベント前のショータイムには、琵琶演奏、ギター演奏とマジックショーがありました。



ギターのイアンさん、



琵琶の周さん



マジックは、加藤紀久さんと打田吉子さんが披露してくれました。

《みんなでサンバ!!》

ふたつ目のメインイベントの「みんなでサンバ!!」

これは大変な盛り上がりでした。帰りかけたお客さんも、会場の扉の向こうで出番をまっているサンバの メンバーの姿を見て、ほぼ全員!会場に戻ってみえました。(笑)





綺麗な女性達がきらびやかな衣装を身にまとい、リズムに乗って踊りながら会場に入場すると、自然と 手拍子が鳴り響き、自然に踊りだすお客さんも多く見られました。

しばらく彼女達のダンスに見とれた後、いよいよチーム対抗サンバ大会が始まりました。

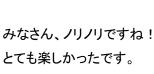
AからFまで6つのチームに分かれ、まずはブラジルのお姉さん達に踊り方を教わります。

それから1チームずつ発表していってもらい、ベストチームとベストパフォーマー(大人一人、子ども一人) をそれぞれ選びました。選ばれた人達にはもちろん豪華賞品(?)をプレゼント。













《景品抽選会》

市内の企業やお店などから協賛品を募り、たくさんの景品が集まりました。

鈴鹿サーキット様、Funny様、AGF様、大徳屋長久様、新星食品様、北野米菓様、海の幸魚長様、まるかつ様、すずきゅう様、IIFC様、そして協会ボランティアの皆様からも賞品をたくさんいただきました。 心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

ご協力いただいた皆様のお陰で、たくさんのお客様がくじで選ばれ、賞品を持って帰っていただくことができました。コチラちゃんも、くじ引きのお手伝いをしてくれました。ありがとうね!コチラちゃん!





今回、このイベントのために、実に120名程のボランティアのみなさんが、お手伝いして下さいました。 中でも、そのうち43名は外国人ボランティアです。彼らが、こうした行事にお客様としてではなくスタッフと して陰で支える側に回り、参加・協働してくれたことは、大変嬉しいことです。

このような"輪"が地域全体にどんどん広がっていって欲しいと心から願います。

たくさんいらしたお客様も、この春まつりを通して、互いの文化を知り、体験し、触れ合い、認め合い、分かり合うことができたなら、私達も最高に嬉しいです。

ご来場下さったお客様、ご協賛頂きました各企業・団体・個人の皆様、お手伝い頂きましたボランティア の皆様、本当にありがとうございました。また来年、お会いしましょう。

*さて、今回このイベントを開催するにあたり、来場者の皆様に、生活に困っている人のために生活支援物資をお願いした所、約100名の方が300点ほどの支援物資をお持ち下さいました。

皆様の善意をありがたく頂戴し、市内のベテル教会を通じて必要な方に配っていただきます。

ベテル協会の牧師様よりお手紙を頂きましたので、ここに掲載させていただきます。

拝啓、この度は2月22日に行われた「わいわい春まつり すずかの輪」の中で救援 物資を多くの方々が持ち寄ってくださり感謝します。

1995年と96年に何回か神戸の震災の時、長田己にボランティアに行き、炊き出しと救援物資の配布のお手伝いをさせて頂きました。まさか今回鈴鹿でも、このような状況になるとは思いませんでしたが、みなさんの善意の表れを、知恵と配慮と愛と公正さを持って配りたいと思います。どうもありがとうございました。

みなさんに創り主なる神さまのご加護がありますように。

敬具

ベテル福音教会 牧師 平松 浩